

# 平成29年度 事務事業評価表

事業No. 59

記入日 平成 30 年 6 月 18 日

記入者 氏名 久野 史人

## 1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	南和広域医療企業団支援事業	長寿福祉課	新規	平成 23 年度	平成 32 年度	ソフト事業(任意)
			○ 継続	○ 平成24年度以前	○ 継続予定	建設・整備事業
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標	その他	政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり			
講ずべき施策		基本施策	基本施策3. 生き生きと暮らせる健康のまちづくり			
主要な取り組み		施策	施策3. 地域医療の充実			

## 2 事務事業の概要 <Plan ②>

対象 (誰・何を対象として)	南和広域医療企業団	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	南和地域の3つの公立病院を1つの救急病院と2つの後方支援病院に役割分担し、南和地域の住民が将来にわたり良質な医療を受け、健康で安心な生活を保てるよう支援します。	
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	南和広域医療企業団へ、運営負担金、事業費負担金、公債費負担金を負担します。	
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル	-
	町内会レベル	-
	自治協レベル	-

## 3 年度別計画と事業費 <Do ①>

事業期間：平成 28 年度 ~ 平成 32 年度

単位		H28(決算)	H29(決算)	H30(予算)	H31(見込)	H32(見込)
総費用		327,630	226,505	257,791	257,791	257,791
費用内訳	直接事業費	千円 327,313	226,188	257,474	257,474	257,474
	人件費	317	317	317	317	317
	(関与人数)	人 0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
財源内訳	特定財源					
	国・県支出金	千円 1,393	20,678	21,263	21,747	22,182
	地方債	218,700	22,000	0	0	0
	その他					
一般財源	107,537	183,827	236,528	236,044	235,609	
指標1単位あたり費用	千円	327,630	226,188	257,474	257,474	257,474
	人	7,600	7,440	7,280	7,120	6,961
	千円	43	30	35	36	37
全体計画	南和地域にお住まいの方が、安心して医療を受けることができるよう、南和広域医療企業団を支援します。		負担金の抛	負担金の抛	負担金の抛	負担金の抛

## 4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
負担金抛	千円	523,263	334,218	247,872	270,817	273,645	276,186
			327,313	226,188			
内、運営負担金	千円	9,220	103,222	182,350	182,350	182,350	182,350
			106,182	161,676			
内、事業費負担金	千円	513,217	218,720	22,651	22,651	22,651	22,651
			218,716	22,080			
内、公債費負担金	千円	826	12,276	42,871	65,816	68,644	71,185
			2,732	37,375			

## 5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	○ 妥当である	医療の確保は継続して行わなければならないと考えています。	3
	○ 検討の余地がややある		
	○ 検討の余地が多い		
町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	○ 妥当である	当町は、南和広域医療企業団へ参画しており、町の負担金抛は妥当と思われる。	3
	○ 検討の余地がややある		
	○ 検討の余地が多い		
役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	○ 適正である	個人や地域が担える部分はないと考えています。	3
	○ 検討の余地がややある		
	○ 検討の余地が多い		
目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	○ 目標を達成している	南和広域医療企業団に対し適切な負担を行っています。	3
	○ 目標をやや下回った		
	○ 目標を大きく下回った		
手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	○ 適正である	負担金として抛出する手法が最適であると考えます。	3
	○ 改善の余地がややある		
	○ 改善の余地が多い		
他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	○ 適正である	参画団体ごとに、適正な負担割合で負担金を抛出しています。	3
	○ 改善の余地がややある		
	○ 改善の余地が多い		
業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	○ 適正である	県と南和地域の市町村12団体で構成される南和広域医療企業団が事業主体であり、負担金抛が適正です。業務内容は負担金の抛出だけのため、効率化を図る点はありません。	3
	○ 改善の余地がややある		
	○ 改善の余地が多い		
投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	○ 適正である	吉野町の負担割合は、12.59%であるため、軽減が図られています。	3
	○ 改善の余地がややある		
	○ 改善の余地が多い		
財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	○ 適正である	過疎債(交付税算入率70%)・出資債(同50%)と有利な財源を利用し財源の確保に努めています。病院立地自治体に交付される普通交付税と特別交付税全額を支出します。	3
	○ 改善の余地がややある		
	○ 改善の余地が多い		

## 6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 久野史人

総合評価と今後の方向性	有効性・効率性	妥当性				業務改善についての今後の方向性	
		0点	1点	2点	3点		
A 業務の内容は適切である	いずれか0点	D	C	C	C	適切に負担金を抛出し、企業団運営会議・企業団議会の場合などを通じて、地域の安定した医療の確保と健全な経営(合理化・効率化)を企業団に求め(働きかけ)ていきます。	
	いずれか1点	C	C	C	C		
	合計4点	C	C	B	B		
	合計5点	C	B	B	A		
	合計6点	C	B	A	A		
	前年度評価	A	前々年度評価	A			
C 成果向上・費用縮小 = 改善案(他の主力の力を引き出す)	成果	投入コスト				成果の方向性	
		皆減 縮小 維持 拡大					コストの方向性(関与人件費含)
		向上	C	B	A		
		維持	E	D			
		縮小	F				
休廃止	G						
当事業は負担金抛出だけのため、通院支援や予防医療の事業実施などにより、安定した経営が維持できることを期待します。							
地域での安定した医療の確保と健全な経営(合理化・効率化)を企業団に求め(働きかけ)ていきます。建設事業は平成28年度で一段落したため、平成29年度以降は医療・福祉部局の長寿福祉課が担当課として事務事業を引き継ぎます。							
前年施策評価方針 C 成果向上・費用縮小							